

11/3

愛情込めて作りました！

第26回茂原市産業まつり

茂原市産業まつり実行委員会は、市の農業・商工業などを広く知ってもらおうと、市役所市民広場および庁舎南側駐車場で、「第26回茂原市産業まつり」を開催しました。

秋晴れの下、会場では地元で採れた新鮮野菜や農産物加工品の即売をはじめ、商工業品の展示や即売が行われました。また、太鼓やフォークダンスの披露、祝い餅投げなどのイベントも催されるなど、多くの人でにぎわいました。



▲野菜即売コーナーは、開店直後から大人気でした



▲「月1回の自己検診も大切」と話す大関先生

自分の体と向き合う

11/3

がん予防市民公開講座

市では、三枝医院院長の大関雄一郎先生を講師にお招きし、「高濃度乳腺と乳がん検診について」をテーマとした講座を市役所で開催しました。

これは、日本人に多い高濃度乳腺（乳腺がよく発達した乳房）と乳がん検診の最新の状況について学んでもらうために開催されたもの。参加した市民44人は、メモを取りながら先生の説明に真剣に耳を傾けていました。

11/3~6 郷土の歴史を大切に

「荻生徂徠」と郷土展開催

「生誕350年の儒学者『荻生徂徠』と郷土展」が、第65回茂原市文化祭の一環で本納公民館にて開催されました。これは、市内本納にて青年期を過ごしたとされる、荻生徂徠の生誕350年の節目に合わせて本納文化財顕彰会が企画したもの。展覧会では、徂徠が記した書簡や本納の家の絵や模型35点が展示され、多くの方が徂徠の足跡に関心を寄せていました。



▲4日間で337人の方が訪れました



▲モバリんと笑顔で握手をする渡辺さん

おかげさまで100万人！

11/12

美術館・郷土資料館記念式典

市立美術館・郷土資料館が開館22年目を迎え、入館者数が100万人に到達したことを記念し、式典が開かれました。

100万人目となったのは、いすみ市在住の渡辺清美さん。陶芸や油絵を見るのが好きで、月1回は茂原の美術館に足を運んでいるそうです。

渡辺さんには、茂原市文化協会の細谷菜穂子会長から、記念品として本納絵馬やモバリんのぬいぐるみなどが贈られました。